

修学院小学校評価結果と分析後期

修学院小学校 校長 浦杉 伸介

平成28年2月23日



1月に実施しました学校評価に関するアンケートについて、児童・保護者・教職員に分けて集計し、その結果について分析を加え、今後の教育活動に向けて検討してきました。

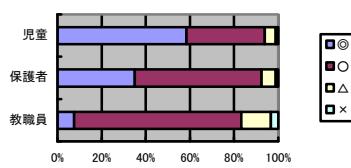
また、今回のアンケート結果につきましては、学校運営協議会の開かれた学校委員会においても、理事長をはじめ、委員の方々と吟味してきましたので、あわせてお知らせさせていただきます。

学校の様子

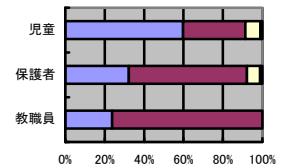
- ◎ よく出来ている
- 大体出来ている
- △ あまり出来ていない
- × 出来ていない

教職員は、全ての項目を自己評価しています。()は、教職員の評価項目です。

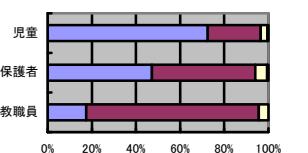
授業が分かりやすい。
(分かりやすいように工夫している。)



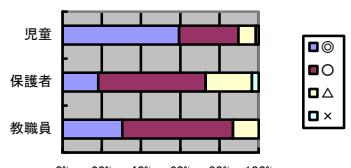
学力の基礎・基本が身についている。
(身につくように工夫している。)



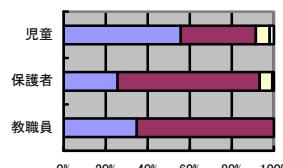
楽しい学校生活を送っている。
(送れるように工夫している。)



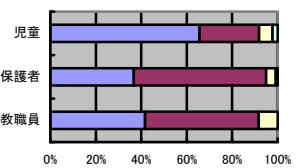
進んであいさつしている。
(挨拶するように指導している。)



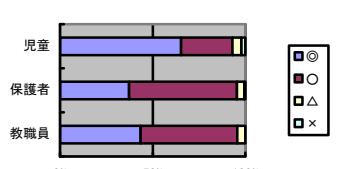
一人一人を大切にしている。
(一人一人を大切にする教育を進めている。)



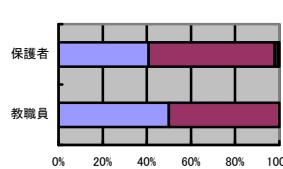
子どもの話をしっかりと聞いている。
(子どもの話を聞いている。)



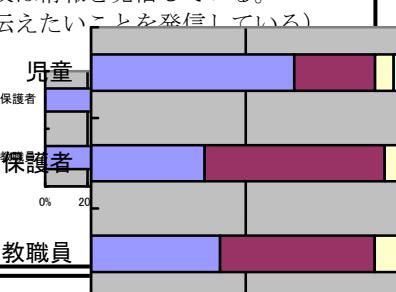
安全に気をつけている。
(安全のための取組を進めている。)



学校が丁寧な対応をしている。
(丁寧な対応を心掛けている)



学校は情報を発信している。
(伝えたいことを発信している)



分析及び今後に向けて（学校の様子 1）

- 上記の10項目について、全体としては、A(よくできている)・B(大体できている)評価を合わせた割合が、微増ではありますが前期を上回っていました。一方、D(できていない)評価についても、微増しているという目が離せない結果となりました。このアンケート結果から、全体としては、学校の取組が効果を上げてきてはいますが、一部には届き切れていないという実情があることを認識し、個別に対応するとともに、各学年・各学級において確かな振り返りの必要性を感じます。特に、授業づくりについては、より分かりやすく、楽しい展開をめざし、子どもたちのやる気を促進できるよう改善していく必要があると考えています。そのためには、学習のめあてを明確にするとともに、一時間毎のまとめをしっかりとしていくことを再認識して進めていきます。
- 校内の安全環境につきましてもより安全な学校にしていくために、廊下・階段の安全表示を見やすくしたり、遊具の点検や撤去をしたりして、より安全な環境を整備していきます。と同時に、子どもたち自身にも、「自分の身は自分で守る」という意識を高めていくため、授業における安全指導・安全学習の充実を図ります。

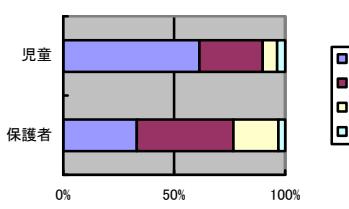
分析及び後期に向けて（学校の様子2）

- 「友だちと仲良くしている」という項目には、日頃の人間関係が表れています。アンケート結果に出ているC・D評価（合わせて5.8%）が、悲しい人間模様に発展しないよう見逃しのない日々の観察を続けていくことが大切だと考えます。担任一人だけでなく、子どもたちの情報を各教員間で共有し、学校全体で見守っていきたいと考えています。

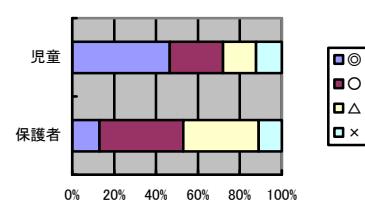
家庭の様子

- ◎ よく出来ている
- 大体出来ている
- △ あまり出来ていない
- × 出来ていない

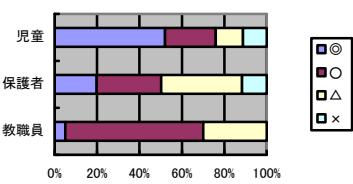
早寝・早起きをしている。
(基本的生活習慣が身につくように工夫している)



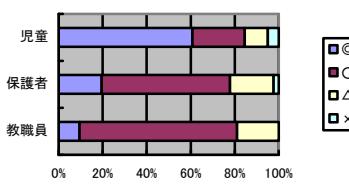
時間を決めてテレビを見たり、ゲームをしたりしている。
(よりよい家庭生活が送れるよう、情報提供している)



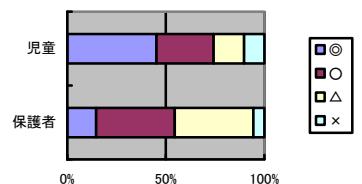
家庭でも読書している。
(家庭でも読書するように指導している。)



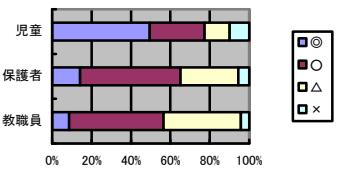
家庭学習をしている。
(家庭学習するように指導している。)



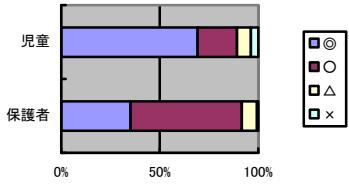
家庭で手伝いを決めてしている。



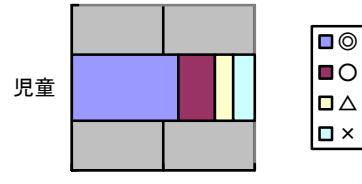
地域の行事や活動に参加している。
(地域との関わり合いを深めている。)



親子で過ごす時間がある。



放課後、友達と遊んでいる。



分析及び今後に向けて（家庭の様子）

- 基本的生活習慣の確立が子どもたちの健やかな成長につながることは言うまでもありません。そういう意味では、今後も引き続き、早寝・早起き・朝ご飯をはじめとする基本的生活習慣の確立にご協力ををお願いします。そして、その中に、ぜひ「気持ちのよい挨拶」を誰もができるよう学校でも挨拶することのよさを強調していきます。校内のみならず校外においても、子どもたちが「気持ちのよい挨拶」ができますようご家庭でもお声掛けをお願いします。
- 「親子で過ごす時間」も、しっかりとつていただいていることに感謝いたします。学校でも、子どもたちからの声を今後も大切にしていきたいと思います。お手伝いにつきましては、家族の一員として子どもたちにも、役割を教えていただき、そのことを全うすることで、家族の一員としての自覚もより高まると考えます。教室でも、係活動や小グループにおける役割分担、また、校内では委員会活動（5・6年）など、協働の喜びも味わえる取組を進めていきます。これらのことにより、学校生活の充実を目指します。

学校長より

今回のアンケート結果の中で、「重要度」がどの項目についても低くなっているのが気にかかります。どの項目についても重要なものと考えていますが、「重要度」が低くなるということは、実現するために努力することが少しづつ意識が薄れていくことが心配です。今後も気を引き締めて、どの項目についても、重要であると思っていただけるよう、実践を積み重ねて参りたいと思います。その中で保護者・地域のみな様と連絡を密にし、ご理解とご協力を得られるようにしていきたいと思います。

重要度の分析結果

保護者アンケートによる重要度の分析結果をご報告させていただきます。

学校の様子

(%)

項目	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
子どもが楽しく学校生活をおくること。	94.6	5.4	*	*
授業が楽しく分かりやすいこと。	90.8	8.7	*	*
学校の授業で学力の基礎・基本が身につくこと	91.8	7.9	*	*
子ども同士がと仲良くすること。	88.1	11.9	*	*
子どもが進んでいさつをすること。	83.2	16.0	0.8	*
一人一人を大切にした教育をすすめること。	75.1	22.7	2.2	*
教職員が子どもの話をしっかり聞くこと。	89.5	12.9	0.1	*
学校が、子どもの安全のための取組を進めること。	86.9	12.9	*	0.1
学校が保護者に丁寧な対応をすること。	44.9	45.7	9.0	0.4
学校が教育方針や教育活動の情報を発信すること。	51.3	44.2	4.6	*

家庭の様子

(%)

項目	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない
時間を決めてテレビを見たり、ゲームをしたりすること。	67.9	29.5	2.5	*
子どもが家庭でも読書をすること。	65.0	32.0	3.0	*
早寝・早起き・朝ごはんの習慣をつけること。	88.3	11.7	*	*
子どもが家庭学習をすること。	73.9	25.5	0.6	*
家庭で子どもの役割（手伝い）を決めること。	56.6	40.8	2.6	*
親と子の会話など親子の時間をとること。	92.9	7.1	*	*
授業参観や学校行事にできるだけ参加すること。	50.8	42.5	6.1	0.6
地域の行事や活動を通して地域との関わり合いを深めること。	50.8	42.5	6.1	0.6
PTA行事や活動にできるだけ参加して、親同士の交流をはかること。	28.6	56.1	13.6	1.7
学校・校長室・学年便りなど学校からの文書をとむこと。	57.0	41.2	1.8	*

開かれた学校委員会より

- 教職員の評価が「よくできる」が全体的に少ないのでないのではないかとご指摘がありました。たとえば、「学力の基礎基本が身に着くように工夫している」という項目など、自分で「よくできている」と言いつらう面がありますが、逆にみると、「工夫していないのか」ととれ、それでは困るのではないかというものでした。決して、努力していないわけではないのですが、結果と結びついているかどうかというところまで考えると、「よくできている」を付けて油断するわけにはいかないと言うのが教職員の思いであります。今後も学力向上に向け、不断の努力をして参ります。
- 「あいさつ」については、いつも話題になりますが、保護者と連携して進めることが大切ではないかというご意見がありました。周りの大人が子どもに範を示していくことが子どもが挨拶をしやすい雰囲気にもなるのではないかというご意見が出ました。また、地域の方にはしないが、先生にはするというご指摘もありました。地域の方々、知っている保護者の方々には率先して挨拶ができるよう学校でも声掛けして参りたいと思います。